



珈琲タイム

カフェの窓越しにカフェの庭や畑が見えます。庭畑では、コスモスが咲き始めています。自家焙煎の珈琲を飲みながらそんな景色を眺め、ゆっくりとくつろいだ時間を過ごしていただく、これが田園カフェの珈琲タイムです。米粉パンのアイテムも増えつつあります。ご来店をお待ちしています。



田園カフェ
住所 長生郡長南町千田1300の1

9月からのメニュー

★ランチ (限定20食) 700円
(米粉パン、インドカレー、サラダのセット)

★飲物 自家焙煎珈琲 (ホット)
アイスコーヒー、アイスティー
りんごジュース 各300円

★米粉パン
【米粉ロールパン】プレーン60円
チョコレート、ウインナー、クランベリー 各100円
【米粉ミニパン】クリームチーズ入りクランベリー
230円

食パン 200円 (新)
バジル入りベーコンチーズ 200円 (新)
ウインナーリング 180円 (新)

★米粉パンのシナモンラスク 230円



ご予約は
0475 (47) 4803 田園カフェ
セミナー等会合のご相談にも応じます。

田園カフェ

2012年9月 通信第3号



長南今昔物語 写真で見る長南町の歴史展 カフェギャラリーにて開催中

昔の長南は、どんな町だったのでしょか。人々はどんな暮らしをしていたのでしょか。明治から昭和30年代までの長南の足跡を写真でたどります。笠森観音ご開帳を記念した、大提灯奉納の山車と大行列、豊栄神社の奉納大相撲と見物に集まった人々、長南小学校で開催されたむしろ織り競技会など貴重な写真が展示されています。

写真資料は、長南町郷土資料館にご提供いただき、展示用写真作成には千葉県古文書館のご協力をいただきました。皆様のお越しをお待ちしています。

長南、今は昔

写真展「長南今昔物語」に 寄せて

美しい緑に包まれた町、長南。ここに幾世代もの人々が生業を営み、暮らして来ました。今日を生きる世代も、明日を生きる世代もまた、昨日までの世代が作ってきたこの町の風土の上に暮らしていきます。地域には、その地域に刻まれた暮らしの足跡があり、その足跡こそ歴史と言うべきものです。

私たちは、この長南という地域に刻まれた足跡をたどり、長南町の地域アイデンティティーを再発見してみたいと思うのです。わずか20枚に満たない古い写真ですが、その1枚1まいに、この長南町でそれぞれの人生を送った人々の息遣いが感じられます。或る人は馬車に乗り、ある人は人が押す「人車」軌道を作っています。その「人車」で集荷・運送された苧（むしろ）カマスが木造の茂原駅舎に集められています。カマスを縫う「縫い子」の初々しい割烹着。むしろを織ったであろう農家のかあちゃん。夜なべする「おさ」（むしろを織り）の音が聞こえて来そうです。どうぞゆっくり写真を味わってください。写真についてお分りのことを教えて下さい。



綿の花

田園カフェの庭

カフェの庭には、綿の花が咲いています。秋には純白の綿毛をつけてくれるでしょう。6月に蒔いたコスモスが伸びてきて、花もちらほら咲きだしました。今月末頃から見ごろになると思います。広い庭畑なので全部をまだ使い尽くせないでいますが、来春には一面に花を咲かせたいと思っています。今、用意した畑用の種は忘れな草、寒咲き菜花、レンゲ、ライムギです。

西の竹林側の土地を整備しました。ここは、野外活動用のスペースにします。簡易な炭焼き釜、石窯やバーベキューができる炉などを作り、杉丸太と竹でつくるあずま屋を設置します。みんなの楽しい広場にしたい、と思っています。

